

滋賀県議会議員

村上げんよう

県政レポート Vol.23 [第23号] 令和7年8月 発行

村上げんよう事務所 〒528-0005 滋賀県甲賀市水口町水口5595番地1 ボヌールビル4階 Tel:0748-70-3833 Fax:0748-70-3653



滋賀県議会議員

村上げんよう



いあいうえお

今年の夏の気温は平年より高く35度を超える猛暑日が続いておりますが、皆様方におかれましては、ますますご壮健でお過ごしのこととお慶び申し上げます。
7月には参議院議員選挙が行われ、新しい船出が始まっております。より一層、市・県・国と連携した取り組みを行ってまいりたいと考えております。
平年より早い梅雨明けで、まだまだ暑さが厳しく、皆様におかれましては、エアコンの使用・こまめな水分補給等の暑さ対策をしっかりと行い、熱中症には十分警戒し、くれぐれもご自愛の上お過ごしくださいませ。

村上げんよう所属委員会 現在の役職

常任委員会…厚生・産業・企業常任委員会 委員長
特別委員会…国スポ・障スポ大会・観光振興対策特別委員会 委員
議会運営委員会 委員
自由民主党滋賀県議会議員団 政務調査会 副会長
自由民主党滋賀県第三選挙区支部 副支部長

活動報告 ～魅力ある地域づくり“心”と“身体”の『健康しが』を!!～



宮本和宏参議院議員(右)と



有村治子参議院議員(右)と



【7月19日】「道の駅あいの土山」竣工式



【7月25日】
甲賀市から県の施策に対する要望



【5月14日】厚生・産業・企業常任委員会



【5月26日～6月6日】
自民党「友好団体」要望聴き取り



【6月28日】甲賀市パラスポーツ協会 ポッチャ交流大会



【6月7日】名神名阪連絡の整備
区間指定を実現する会総会



【4月18日】グリーンティ土山
てん茶工場竣工式



【6月8日～10日】
自由民主党滋賀県議
会議員団・会派視察



【6月11日】公益社団法人びわこ
ビジタースビューロー
定時総会・観光物産事業功労者等
表彰式



【4月22日】農水省林野庁訪問・意見交換



【7月15日】ミシガン州友好親善使節団
送別レセプション

- 【5月14日】信楽高原鐵道列車事故犠牲者追悼法要
- 【5月15日】甲賀市パラスポーツ協会総会
- 【5月16日】滋賀県草津線複線化促進期成同盟会総会
- 【5月19日】名神名阪連絡道路整備促進期成同盟会総会
- 【5月24日】全拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会
- 【5月25日】わたSHIGA輝く障スポリハーサル大会競技開始式
- 【5月31日】水口スポーツの森リニュアル 記念イベント管理棟竣工式
- 【5月31日】飯道山観光協会総会
- 【6月21日】甲賀農業協同組合 第47回通常総代会
- 【6月22日】貴生川みらい会議通常総会

村上げんようの日々の活動はFacebookに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

6月定例会議 代表質問 (令和7年6月16日) 14項目の質問をしました。(抜粋)

強靱かつ持続可能な下水道システムの構築について

Q 本県の下水道施設の老朽化の現状認識と、その課題や対応について伺う。

A 知事 昭和57年(1982年)の供用開始以来、43年が経過し、その多くが耐用年数を迎え、大量の改築更新が想定されておりますことから、限られた予算および人員の中で、いかに効率的に事業を実施していくのが課題と捉えております。
こうした課題に対応するために、施設を計画的かつ効率的に管理することが必要であり、中長期的な施設状態の予測やリスク評価に基づく修繕・改築計画を策定し、対策を実施するとともに、耐震化を進めているところでです。

Q 市町も含め、今後の取組について見解を伺う。

A 知事 計画的な改築更新や地震対策、ウォーターPPP導入検討など下水道事業の効率的な維持管理と長寿命化・強靱化に取り組めます。
また、下水道事業における市町との連携や水道事業との連携を深めるべく、ワーキンググループで課題を洗い出し、事業の共同化など連携のあり方を検討し、事業運営体制の強化を図ってまいります。

水田農業の推進について

Q 昨今の米価問題等を踏まえた近江米の振興において重視する視点について伺う。

A 知事 近江米の振興施策の検討にあたりまして、資材費などの高騰への対応をはじめ、昨今の米を取り巻く状況の変化を踏まえ、次の三つの視点が重要であると考えております。
1.琵琶湖を中心とする自然環境と調和のとれた環境こだわり農業を進めること。
2.高温耐性品種の導入を進めるなど、夏の期間の高温下でも安定した米作りを進めること。
3.家庭用や業務用など多様なニーズに応じた生産を行うこと。
これらの視点を踏まえ、今後の近江米の振興施策を検討してまいります。

Q 農業者が希望を持てる農業についての考え方を伺う。

A 知事 現在、策定作業を進めている「滋賀県農業・水産業基本計画」におきましては、基本理念を「つながる、つづく、しがの農業・水産業」としたいと考えているところで、
農業者の所得につながる農業産出額を強く意識しつつ、「食」

で笑顔が広がり、生産者が誇りを持ってつくり続けたいと思える魅力ある農業を実現してまいりたいと存じます。



厚生・産業・企業常任委員会
委員長として委員会報告

今後の道路整備事業の推進について

Q 国の直轄事業において、現在の道路整備のペースを落とすことなく推進させる方策について伺う。

A 知事 今年、国の直轄4事業が開通を迎えますが、本県の強靱な道路ネットワークの実現はまだまだ道半ばでございます。
このため、直轄事業が構想段階から計画段階、さらには事業段階へと着実にステップアップするよう、国に対し力強く要望を続けるとともに、事業化後速やかに着工できるよう、沿線市町とも協力して、用地取得に向けた地元の合意形成や地籍調査などに取り組んでまいりたいと存じます。

詳しい内容については、
滋賀県のホームページをご参照ください。



村上げんよう事務所

〒528-0005
滋賀県甲賀市水口町水口5595番地1 ボヌールビル4階
TEL: 0748-70-3833 FAX: 0748-70-3653

E-mail: genyo@ac-koka.jp
村上げんようホームページ: <https://murakamigenyo.net/>
村上げんようFacebook: facebook.com/murakamigenyo/



◀ ホームページ

滋賀県政

みなさまの
暮らしを豊かに。

編集・発行／自由民主党滋賀県議会議員団



代表質問

6月定例会議



質問者 村上 元庸 議員

「わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ」の成功に向けて

Q 現在把握している大会に向けた課題への対応と準備状況、更なる機運醸成に向けた取組について伺う。

A 開催に向けましては、国スポリハーサル大会などを踏まえ、大会運営やおもてなしの準備を着実に進めており、警備や熱中症予防など、本番を想定した対策に取り組んでいるところです。

加えまして、障スポリハーサル大会では、悪天候下での開催判断や、運営スタッフやボランティアの活動等について課題や改善点を再認識したところであり、その対応を指示しているところでございます。

大阪・関西万博の期間との重複から心配しておりました宿泊施設やバスの確保につきましても、県内のホテル・旅館などの宿泊施設やバス会社等の御協力により、おかげさまで概ねの目途が立ってまいりました。

更なる機運醸成に向け、ＪＲの駅など街を大会装飾で彩るシティドレッシングを展開いたしますとともに、大会100日前イベントとして平和堂ＨＡＴＯスタジアム周辺の一斉清掃を実施いたしますほ

か、市町におきましては炬火(きょか)イベントや大会期間中の情報発信なども企画されております。県民や企業、市町の皆様にも御協力いただきながら、オール滋賀で大会を盛り上げてまいりたいと存じます。捉えているところです。全国大会や日本代表等の合宿の開催に向けて、「攻め」の誘致活動を展開してまいりたいと思います。

Q 国スポ・障スポの将来を展望し、どのような大会を目指しているのか伺う。

A 昨年の佐賀大会では、自由で楽しさあふれる開・閉会式など、新しい大会として様々なチャレンジが行われたところでございます。これらの取組を滋賀らしく進化させることに加えて、環境配慮の実践など、滋賀ならではの取組を通じて大会に関わるすべての人が光り輝く大会となることを目指しております。

1. 滋賀県防災対策の推進に関する条例に基づく取組について
2. 大学連携の現状と今後の取組方針について
3. 今後の行財政運営について
4. 「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の成功に向けて
5. 強靱かつ持続可能な下水道システムの構築について
6. 平和への取組について
7. 保育人材の確保について
8. 中小企業の“稼ぐ力”の強化について
9. 観光誘客・振興について
10. 水産業の直面する課題について
11. 水田農業の推進について
12. 道路整備事業の推進について
13. これからの滋賀の教育行政について
14. トクリュウ対策について

公共交通機関の積極的な活用やマイボトル持参など、大会を通じて環境を考える機会が根付き、また、ボランティアの皆さんの活躍が、スポーツを支える文化の醸成につながるものと確信しております。そして、これらの思いは、後々の大会にも受け継がれていくものと考えております。

県民の皆様と一緒に、滋賀ならではの魅力と感動をつくり出し、湖国で生まれた感動が、両大会に関わるすべての人の心に刻まれ、将来にわたって引き継がれるよう、残された期間で着実に準備を進めてまいりたいと存じます。

Q 両大会に挑む滋賀県選手団や帯同者へのサポート体制と目標達成に向けた決意を伺う。

A 本県選手団へのサポートは極めて重要であり、例年にない規模で臨むことになる今年度は、特に配慮が必要だと認識しております。国スポに向けては、日頃の練習から医科学面でのサポートの充実を図りますとともに、本番では各競技に必要なコーチやトレーナーをすべて配置できるような支援し、選手のコンディション維持やパフォーマンス向上につなげてまいります。

医師として村上先生にはいろいろとお世話になっておりまして、心から感謝申し上げたいと存じます。

また、障スポの選手団は、大規模な大会への参加経験の浅い選手が多いことから、本番を想定した練習機会の充実を図りますとともに、大会当日の選手団の移動や身の回りの支援など、障害特性に応じたサポートを行うことで、選手の皆さんがリラックスして競技に臨めるよう配慮してまいります。

これら質の高いサポートを通じて、選手の皆さんが自信を持って本番を迎え、持てる力をすべて出し切っていただくことで、目標である国スポ総合優勝と、障スポ全種目での本県選手の活躍の実現を目指してまいります。

Q 大会のレガシー継承・将来への活用にあたり、どのようなことを思慮しているのか伺う。

A 大会で活躍いただく選手や指導者が、滋賀の地に残り、子どもたちを始め、県民にスポーツの魅力を伝え、様々な形で県民のスポーツ活動の充実に貢献いただくことを期待いたします。

また、大会を支えていただくボランティアの皆さんには、引き続き大規模大会等、様々な機会でご活躍いただきたいと思います。

本大会に向けて整備を進めてきた施設におきましては、各種競技の実施にとどまらず、大規模大会の誘致やプロスポーツでの活用などを積極的に進め、多くの人がスポーツを「する・みる・支える」場としての賑わいを創出していきたいと存じます。

両大会を通じて得られる有形無形の様々なレガシーは、これからの滋賀にとって貴重な財産でございます。将来に向けたレガシー創出のための取組を全庁あげて推進し、健康しがの実現に向けて、全力を尽くしてまいりたいと存じます。

令和7年度友好団体政務調査会

友好団体のご要望を頂戴しました！

合計67団体からの要望を5月26日～6月6日のうち8日間に渡って承りました。頂いたご要望については実現に向けて誠意努力いたします。また県内全19市町からの要望を承る令和7年度都市別政調会を7月29日～8月8日の日程で実施いたします。県内すべてのみなさまの声が県政に反映されるよう頑張って参ります。

